

2021 年度

事業報告書

特定非営利活動法人 環境文明二十一

1 事業の成果

特定非営利活動法人の会員や寄付に支えられて、環境問題に関する政策提言、調査研究普及啓発、交流等に関する事業を行い、環境の保全に寄与する事業を順調に行った。

2 事業の実施に関する事項

別紙 2021年度事業報告書のとおりです。

NPO 法人環境文明 21

2021 年度 事業報告書

1. 事業活動方針

環境問題に関する政策提言、調査研究、普及啓発、交流等に関する事業を行い、環境の保全に寄与した。

2. 事業内容

(1) 環境問題に関する政策提言

1) 持続可能な脱炭素社会に向けた政策提言

内容：「脱炭素時代」を生きる覚悟と責任」と題した提案書を作成し、「環境文明 21 の訴え」として取り纏め、2022 年 1 月に国会議員（現・前）及びメディアに送付したほか、会報などを通じて、政策提言や啓発活動を継続的に行った。またグリーン連合と協働して炭素税導入等気候変動対策の促進を要望した。

日時：2021 年 4 月より随時

従事人員：4 名

対象：政府、一般市民、企業等

2) 日本国憲法に環境原則（持続性原則）を導入することについての政策提言

内容：国会での憲法論議の進展を踏まえ、「日本国憲法に「環境（持続性）原則」を追加する提案」と題した提案書を作成し、「環境文明 21 の訴え」として取り纏め、2022 年 1 月～4 月にかけて、国会議員（現・前）との面談及び資料送付、メディアへの資料送付を行った。

日時：2021 年 4 月より随時

従事人員：2 名

対象：一般市民、メディア、政党等

3) グリーン連合活動

内容：2015 年 6 月に設立したグリーン連合の活動として、市民版環境白書（グリーン・ウォッチ）の発行支援、プラスチック新法（5 月）、汚染水問題（7 月）、第 6 次エネルギー基本計画(案)（10 月）に対し意見書提出、NPO 活動促進のための政策提言、環境省との意見交換会、勉強会等、他の NPO と連携して継続的に行った。

日時：2021 年 4 月より随時

従事人員：2 名

対象：会員および一般

(2) 環境問題に関する調査研究

1) 調査研究

①市民版環境白書 2022 (グリーン・ウォッチ) の編集・執筆と発行支援

内容：グリーン連合が設立以来継続している市民版環境白書の7冊目となる2022年版(2022年5月末に発行)の編集及び執筆を行った。当会は、従来より継続的に執筆や編集責任者として本事業の中心的役割を果たしており、これを継続した。

日時：2021年4月～2022年3月

従事人員：3名

対象：会員および一般

②気候危機時代をリードする「政治家としての倫理と政策」に関するアンケート調査

内容：環境倫理部会で議論した「政治に関わる人の倫理」をもとに、気候危機の時代を担う政治家としての倫理観の重要性を深く認識して頂く一方、結果を公表し多くの有権者に伝えるために、各地の会員と連携して、2021年秋の衆議院議員立候補予定者へのアンケート調査を実施した。分析結果はホームページ及び会報に掲載し、全国紙及び対象地域の地方紙にも送付したほか、当選議員に対してもフィードバックを行った。

従事人員：4名

実施期間：2021年8月23日～9月15日

対象地域：アンケート調査に協力を得られる当会会員が所在する13都県

(宮城県、群馬県、千葉県、東京都、神奈川県、富山県、静岡県、三重県、滋賀県、兵庫県、奈良県、鳥取県、大分県)

対象者：2021年秋に予定される衆議院議員選挙立候補予定者のうち、送付先住所が明確な287名(回答率46%)

2) 部会活動

①環境倫理部会

内容：脱炭素社会における価値観やライフスタイルの在り方など、環文ブックレット「生き残りへの選択」(2013年発行)なども活用しながら、議論を深めた。全ての人を対象とした基本的倫理と併せて、政治家・有権者、消費者など、対象者ごとに守るべき倫理について検討し、全国交流大会(12月4日)において、その成果を発表した。

日時：2021年4月より1か月に一度程度(Zoomによるオンライン開催)

(4月10日、5月15日、6月12日、7月17日、8月21日、10月2日、

10月30日、11月23日、1月15日)

従事人員：3名

対象：会員および一般

(3) 環境問題に関する普及啓発

1) 会報の発行

内容：会報「環境と文明」を発行した。発行から3か月後にウェブ上での全文掲載を実施するとともに、「風」欄の英語での発信を行った。

	発行月	月毎のテーマ	
2021年	4月号:	経営者「環境力」大賞発表会	
	5月号:	脱炭素社会をどう考えるか	
	6月号:	脱炭素社会は可能か	
	7月号:	持続可能な脱炭素社会を支える産業	
	8月号:	暑い夏の日に思うこと	
	9月号:	グリーンな政治を目指して	
	10月号:	IPCCを受けてのCOP26の課題	
	11月号:	これからの食と農業	
	12月号:	2021年を振り返って、変化の兆しは見えただか?	
	2022年	1月号:	COP26後の気候変動対策
		2月号:	知らないうちに進む不都合な環境・エネルギー政策
		3月号:	プラスチック新法とプラスチックのこれから

日時：毎月15日、年12回発行

従事人員：4名

対象：会員および一般

2) 「経営者「環境力」大賞」の顕彰・発表会

内容：14回目となる「2021年度 経営者「環境力」大賞」の応募を行い、1月13日に審査会を開催し、6名を大賞に決定した。2月25日には顕彰式並びに発表会を開催し、発表会第二部では、国立環境研究所 [REDACTED] より「脱炭素社会を支える環境力」と題して話題提供を頂いた。

日時：2022年1月13日 審査会 (Zoomによるオンライン開催)

2022年2月25日 顕彰式・発表会 (Zoomによるオンライン開催)

従事人員：5名

対象：会員および一般

3) 環境文明塾の開催

内容：本事業においては、受講者との対面での作業や意見交換が非常に重要であり、オンラインでの開催が難しいことから、本年度の実施は見送った。

4) 環文ミニセミナーの実施

内容：コロナ感染拡大を契機に2020年9月に開始した1時間のオンラインセミナーを本年度も継続して開催し、会報の寄稿者による内容解説と意見交換を行った。

- 日時：第10回 2021.4.9 「気候市民会議と民主主義の刷新」 [REDACTED]
- 第11回 2021.5.21 「脱炭素社会とはどんな社会なのか？」 [REDACTED]
- 第12回 2021.6.25 「脱炭素型の暮らしとは？1.5℃ライフスタイルに向けた取り組み」 [REDACTED]
- 第13回 2021.7.30 「原発は気候変動対策にならない」第6次エネルギー基本計画素案（7月21日発表）と地球温暖化対策計画案（7月26日発表）を傍目で見つつ [REDACTED]
- 第14回 2021.9.3 「淡路島の持続可能な社会の姿を描くー30年後の未来を考える「淡路デザイン会議」からの提案ー」 [REDACTED]
- 第15回 2021.10.8 「ドイツ緑の党の最近の動向」 [REDACTED]
- 第16回 2021.11.12 「炭素予算で斬る！Too little, too late な日本の気候政策」 [REDACTED]
- 第17回 2022.1.21 「ガラパゴス化する日本の気候・産業政策」 [REDACTED]
- 第18回 2022.3.18 「ドイツで学ぶ環境とリスクの社会心理学」 [REDACTED]

5) シンポジウム等の開催

①グリーン連合「市民版環境白書2021（グリーン・ウォッチ）発行記念シンポジウム」支援

内容：グリーン連合の「市民版環境白書2021（グリーン・ウォッチ）発行記念シンポジウム」を他のNPOと連携してオンラインにて開催し、環境の現状とともに、環境NPOの発展策について議論した。

日時：2021年6月9日（オンライン開催）

従事人員：4名

対象：会員および一般

②「ECO DOGA 甲子園」事業支援

内容：支援を予定していた「エコ動画甲子園事業」（高校生の環境意識を高め、具体的な行動のきっかけを提供することを目指したエコ動画コンテストの開催）は、長らくコロナ禍により本年度も実施が困難となったため、次年度に向け、実行委員会に対し助言を行った。

日時：2021年4月より2022年3月まで9回実施

従事人員：4名

(4) 環境問題に関する交流

1) 全国交流大会

内容：「脱炭素時代を生き抜くために～私たちに求められる暮らし方～」と題したシンポジウムを開催し、北海道大学 [REDACTED] より「ロスト欲望社会と消費ミニマリズム」と題して話題提供を頂いたほか、環境倫理部会からの報告を基に参加者と意見交換を行った。

日時：2021年12月4日（Zoomによるオンライン開催）

従事人員：4名

対象：会員および一般

2) 経営者「環境力」クラブの活動

内容：本年度は総会、勉強会をオンラインにて開催し、企業の環境力の普及に繋げる活動を行った。

日時：2021年7月6日 総会・第1回勉強会（Zoomによるオンライン開催）

話題提供：①「2050年ゼロカーボン、2030年46%-50%削減目標達成に向けて企業が行うべきこと」

[REDACTED]

②「脱炭素ドミノ」と温対法改正のポイント

[REDACTED]

2021年11月24日 第2回勉強会（Zoomによるオンライン開催）

『経営のグリーン化、そして脱成長は可能か』

話題提供：①「経営のグリーン化と脱成長」

[REDACTED]

②「企業から見たグリーン化と脱成長」

[REDACTED]

従事人員：4名

対象：経営者「環境力」クラブ会員

3) エコツアーの開催

内容：コロナ禍により本年度は開催を見送った。

4) 支部活動

①関西グループ

内容：地域の市民および市民団体等との交流・意見交換。エコサロン大阪の開催。

日時：毎月1回程度開催

場所：奈良県、大阪府等

対象：会員および一般

(5) その他

1) インターンの受け入れ

内容：昨年度に引き続き、SOMPO 環境財団の CSO ラーニング制度によりインターン1名を受け入れ、オンラインと対面を併用した研修を実施した。

日時：2021年6月～2022年1月（Zoomによるオンライン研修）

2) 会員の状況

2022年4月末現在	290名	(正会員74、学生1、賛助個人168、団体11、企業18、購読17、サポーター1)
2021年4月末現在	304名	(正会員71、学生1、賛助個人181、団体13、企業19、購読16、サポーター3)
2020年4月末現在	320名	(正会員74、学生0、賛助個人194、団体13、企業19、購読17、サポーター3)
2019年4月末現在	318名	(正会員72、学生0、賛助個人198、団体13、企業18、購読13、サポーター4)
2018年4月末現在	331名	(正会員69、学生2、賛助個人214、団体13、企業19、購読14)
2017年4月末現在	340名	(正会員68、学生4、賛助個人218、団体15、企業20、購読15)
2016年4月末現在	359名	(正会員69、学生6、賛助個人229、団体15、企業25、購読15)
2015年4月末現在	382名	(正会員70、学生6、賛助個人247、団体15、企業26、購読18)

2021年度 活動計算書(その他事業がない場合)

特定非営利活動法人環境文明二十一

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
【A】	経常収益		
1	受取会費		5,292,800
	正会員受取会費	662,400	
	賛助会員受取会費	4,400,600	
	サポーター受取会費	9,000	
	購読会員受取会費	220,800	
2	受取寄附金		3,823,420
	受取寄附金	3,823,420	
3	受取助成金等		1,900,000
	受取補助金	1,850,000	
	SOMPO環境財団CSOラーニング	50,000	
4	事業収益		0
5	その他の収益		43
	受取利息	43	
	経常収益計		11,016,263
【B】	経常費用		
1	事業費		
	(1) 人件費		2,375,651
	給料手当	1,864,710	
	法定福利費	269,235	
	通勤費	241,706	
	(2) その他経費		4,784,980
	諸謝金	221,045	
	印刷製本費	851,411	
	会議費	1,970	
	通信運搬費	888,624	
	消耗品費	41,352	
	水道光熱費	116,405	
	家賃	2,160,000	
	賃借料	265,291	
	諸会費	10,000	
	図書研究費	228,882	
	事業費計		7,160,631
2	管理費		
	(1) 人件費		271,959
	給料手当	207,190	
	法定福利費	48,437	
	通勤費	2,736	
	福利厚生費	13,596	
	(2) その他経費		759,917
	会議費	34,942	
	旅費交通費	398	
	通信運搬費	149,600	
	消耗品費	185,051	
	水道光熱費	12,936	
	家賃	241,918	
	賃借料	29,477	
	保険料	8,790	
	諸会費	20,000	
	支払手数料	64,658	
	雑費	12,147	
	管理費計		1,031,876
	経常費用計		8,192,507
	当期経常増減額【A】-【B】・・・①		2,823,756
【C】	経常外収益		
	経常外収益計		0
【D】	経常外費用		
	経常外費用計		0
	当期経常外増減額【C】-【D】・・・②		0
	税引前当期正味財産増減額①+②・・・③		2,823,756
	法人税、住民税及び事業税・・・④		6
	前期繰越正味財産額・・・⑤		5,264,917
	次期繰越正味財産額③-④+⑤		8,088,667

2021年度 貸借対照表

特定非営利活動法人環境文明二十一

(単位:円)

科	目	金額	小計・合計
【A】 資産の部			
1	流動資産		
	現金預金	7,543,027	
	未収金	19,200	
	前払金	406,703	
	流動資産合計 . . . ①		7,968,930
2	固定資産		
	(1) 有形固定資産		
	(2) 無形固定資産		
	(3) 投資その他の資産		
	敷金	500,000	
	固定資産合計 . . . ②		500,000
【A】 資産合計 ①+②			
【B-1】 負債の部			
1	流動負債		
	未払金	343,286	
	前受金	19,200	
	預り金	17,777	
	流動負債合計 . . . ③		380,263
2	固定負債		
	固定負債合計 . . . ④		0
負債合計 ③+④			
【B-2】 正味財産の部			
	前期繰越正味財産額		526,491
	当期正味財産増減額		282,375
正味財産合計			
			8,088,667
【B】 負債及び正味財産合計 【B-1】 + 【B-2】			
			8,468,930

2021年度 財産目録

特定非営利活動法人環境文明二十一

(単位:円)

科	目	金額	小計	合計
【A】資産の部				
1	流動資産			
	現金預金		7,543,027	
	手元現金	51,859		
	ゆうちょ銀行振替貯金	3,923,836		
	三菱FJ銀行普通預金	3,334,783		
	ゆうちょ銀行普通預金	231,441		
	西武信金普通預金	1,108		
	未収金		19,200	
	2021年度購読会費	19,200		
	前払金		406,703	
	家賃	200,000		
	保険料	8,621		
	賃借契約金	198,082		
	流動資産合計・・・①			7,968,930
2	固定資産			
	(1)有形固定資産			
	車両運搬具			
	什器備品			
	(2)無形固定資産			
	(3)投資その他の資産			500,000
	敷金		500,000	
	事務所	500,000		
	固定資産合計・・・②			500,000
	【A】資産合計 ①+②			8,468,930
【B-1】負債の部				
1	流動負債			
	未払金		343,286	
	3月分給与	160,823		
	3月分通勤費	14,332		
	3月分社会保険料	51,187		
	3月分水道光熱費	10,207		
	3月分通信運搬費	40,562		
	3月分賃借料	7,813		
	3月分印刷製本費	56,430		
	3月分消耗品費	1,932		
	前受金		19,200	
	正会員会費	9,600		
	購読会費	9,600		
	預り金		17,777	
	雇用保険料	6,297		
	源泉所得税	11,480		
	流動負債合計・・・③			380,263
2	固定負債			
	固定負債合計・・・④			0
	【B-1】負債合計 ③+④			380,263
	【B-2】正味財産合計 【A】-【B-1】			8,088,667

2021年度年間役員名簿

（前事業年度において役員であったことがある全員の氏名及び住所又は居所並びにこれらの者についての前事業年度における報酬の有無を記載した名簿）

特定非営利活動法人 環境文明二十一

1 確認事項（法第20条及び第21条を確認の上、チェックを入れてください。）

- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。（法第20条関係）
- 各役員について、親族の規定に違反していません。（法第21条関係）

2 役員一覧

	役名 どちらかに○	(フリガナ)		前事業年度内の 就任期間	報酬を受けた期間 (該当者のみに記入)
		氏名			
1	○(理事)・監事	フジムラ コノエ		2021年 4月 1日	年 月 日
		藤村 コノエ		2022年 3月 31日	年 月 日
2	○(理事)・監事	アラタ テツジ		2021年 4月 1日	年 月 日
		荒田 鉄二		2022年 3月 31日	年 月 日
3	○(理事)・監事	イムラ ヒデフミ		2021年 4月 1日	年 月 日
		井村 秀文		2022年 3月 31日	年 月 日
4	○(理事)・監事	ウエダ カツロウ		2021年 4月 1日	年 月 日
		上田 勝朗		2022年 3月 31日	年 月 日
5	○(理事)・監事	ウメダ モトカズ		2021年 4月 1日	年 月 日
		埋田 基一		2022年 3月 31日	年 月 日
6	○(理事)・監事	クドウ タイコ		2021年 4月 1日	年 月 日
		工藤 泰子		2022年 3月 31日	年 月 日
7	○(理事)・監事	コノミ キクコ		2021年 4月 1日	年 月 日
		許斐 喜久子		2022年 3月 31日	年 月 日
8	○(理事)・監事	シバヤマトクイチロウ		2021年 4月 1日	年 月 日
		柴山 徳一郎		2022年 3月 31日	年 月 日
9	○(理事)・監事	タサキ トモヒロ		2021年 4月 1日	年 月 日
		田崎 智宏		2022年 3月 31日	年 月 日
10	○(理事)・監事	ナイトウ ヒロシ		2021年 4月 1日	年 月 日
		内藤 弘		2022年 3月 31日	年 月 日

社員名簿（社員のうち10人以上の者の名簿）

（2022年3月31日現在）

特定非営利活動法人 環境文明二十一

	氏名	
1	藤村 コノエ	[Redacted]
2	井村 秀文	
3	上田 勝朗	
4	埋田 基一	
5	許斐 喜久子	
6	柴山 徳一郎	
7	原 剛	
8	松尾 友矩	
9	工藤 泰子	
10	中山 茂	
11	田中 充	